

|   |              |                       |             |       |         |
|---|--------------|-----------------------|-------------|-------|---------|
| 2012-B  |              |                       |             |       |         |
| 拠出金・基金の名称:  |              | 日韓学術文化青少年交流基金拠出金      |             |       |         |
| 種 別   |              | イヤーマーク      ノン・イヤーマーク |             |       |         |
| 拠出先の国際機関名: 日韓学術文化青少年交流共同事業体   |              |                       |             |       |         |
| 【所管官庁担当局課・室名】: 外務省アジア大洋州局北東アジア課   |              |                       |             |       |         |
| 【当該任意拠出金の目的・用途等】<br>両国間の学術・文化交流などを促進することにより、両国国民間の相互理解と信頼関係の醸成するとともに、両国の有識者による文化・学術・歴史等、幅広い分野に関する会議事業を行い、相互理解の増進に努めている。   |              |                       |             |       |         |
| 最近3年間の我が国支払額及びODA率  |              |                       |             |       |         |
| 単 位   | 邦 貨<br>(千 円) | 外貨1<br>(千ドル)          | 外貨2<br>(千 ) | レ ー ト | ODA率(%) |
| 平成24年度  | 250,634      | -                     | -           | 円建て   | 0       |
| 平成23年度  | 294,864      | -                     | -           | 円建て   | 0       |
| 平成22年度  | 294,966      | -                     | -           | 円建て   | 0       |
| 【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】  |              |                       |             |       |         |
| 1. これまで、当該拠出金は、両国関係の発展のため以下の事業を実施(以下の数字は、平成元年～平成24年まで)。<br>・助成事業(青少年・草の根交流等を対象)では、計1091件を実施。<br>・学術研究者交流事業(日韓の若手研究者の研究を支援)では、計582人が訪日、計66人が訪韓。<br>・日韓首脳会談で設立に合意した有識者による各種意見交換の場(日韓文化交流会議、日韓歴史共同研究委員会、日韓新時代共同プロジェクト)を提供。<br>・青少年交流では、招聘18,631名、派遣8,807名を実施(但し、平成19年度から平成23年度までは、21世紀東アジア青少年交流計画の下で拠出された東アジア青少年交流基金拠出金にて実施。平成24年度はアジア大洋州地域及び北米地域との青少年交流(キズナ強化プロジェクト)の下で実施。平成25年度はJENESYS2.0の下で実施中)。 |              |                       |             |       |         |
| 2. 本件拠出を通じた一連の事業は、日韓の文化、学術、青少年交流を活性化させ、両国国民の相互理解を促進する効果が期待されると共に、両国間の今までの日韓首脳の合意のフォローアップという観点からも重要な意味を有する。  |              |                       |             |       |         |